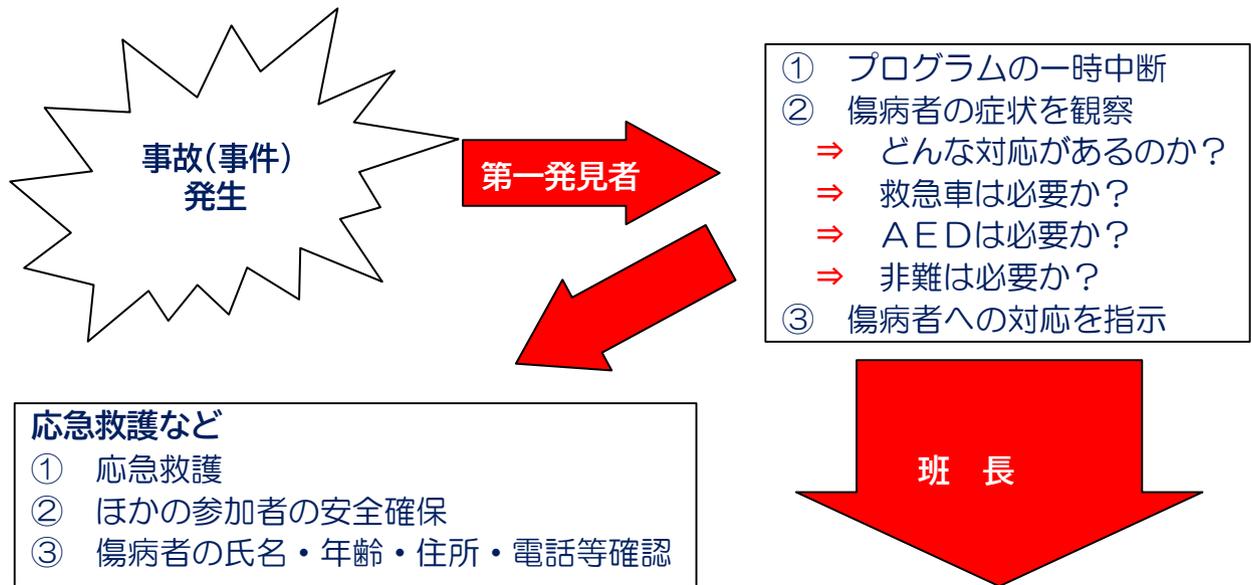


## 【遊び場開放 安全管理マニュアル】

※イザというときの連絡体制、安全管理に必要な情報、安全対策の項目、応急処置等の資料です。必ず目を通し、活用していただきますようお願いします。

### イザというときの連絡体制

非常事態が発生した場合、第一発見者はただちに班長に報告を行います。班長は、新宿未来創造財団へ連絡、報告します。ただし、緊急の場合は、連絡よりも対応を優先し、事後に報告を行います。



連 絡		
消防署・警察署	事故…☎119 番 事件…☎110 番	①事故(事件)の状況 ②傷病者の症状 (意識の有無、ケガ、出血の有無等) ③傷病者への対応 ④事故(事件)発生場所(名称、所在地) ⑤通報者氏名 ⑥通報者電話番号
レガス新宿	☎3232-5122 地区担当 (北川 亜由美)	①現状と対処を報告 ②対応を相談 ※年末年始以外、休日当番が出勤しています。
保護者		①現状と対処を報告 ②場合によっては迎えを依頼する。 ③事件等の場合は一人で帰宅させない。
実施場所・学校	警備、日直教諭 学校施設管理員	①現状と対処を報告

緊急搬送		
救急車	現場スタッフ同乗	プログラム中止
病院	近隣病院	・目白整形外科内科 ☎ 03-5988-7211 ・目白病院 ☎ 03-3953-9909
	休日	東京消防庁テレホンサービス ☎3212-2323※24 時間 救急医療機関案内

## 緊急連絡先

### (1) 公益財団法人新宿未来創造財団

①平日（9:00～17:15）	03-3232-5122（子ども・地域課）
②平日（17:15～22:00）	03-3232-7701（コスミック）
③土日・祝日（9:00～22:00）	03-3232-7701（コスミック）

### (2) 区内の警察署

①四谷警察署	03-3357-0110
②牛込警察署	03-3269-0110
③戸塚警察署	03-3207-0110
④新宿警察署	03-3346-0110

### (3) 区内の消防署

①四谷消防署	03-3357-0119
②牛込消防署	03-3267-0119
③戸塚消防署	03-3205-0119
④新宿消防署	03-3371-0119

### (4) 新宿区的主要病院

①東京女子医大病院 河和田町8-1	03-3358-8111
②東京医科大学病院 西新宿6-7-1	03-3342-6111
③慶応大学病院 新宿区信濃町35	03-3353-1211
④国立国際医療センター 戸山1-21-1	03-3207-7181
⑤春山外科病院 百人町1-24-5	03-3363-1661
⑥都立大久保病院 歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711
⑦東京山手メディカルセンター 百人町3-22-1	03-3363-0251
⑧聖母病院 中落合2-5-1	03-3951-1111
⑨東京新宿メディカルセンター 津久戸町5-1	03-3212-2323

(5) 休日患者テレフォン案内 区民健康センター（9:00～17:00）  
03-3208-2222

(6) 東京都消防庁災害救急情報センター 03-3212-2323  
休日・夜間診療施設、救急医療機関の案内と救急に関する相談

(7) 救急診療等の案内（24時間医療機関案内）  
03-5272-0303  
お問い合わせ時間に診療を行っている近くの医療機関の案内

## 1 犯罪・不審者情報

### しんじゅく安全安心情報ネット

- 犯罪・不審者情報：<https://www.anshin-shinjuku.jp/Community/>

## 2 天候・防災情報(警報・注意報)

### 日本気象協会：<http://tenki.jp/>

- 警報・注意報：<http://bousai.tenki.jp/bousai/warn/>
- 台風情報：<http://bousai.tenki.jp/bousai/typhoon/>
- 地震情報：<http://bousai.tenki.jp/bousai/earthquake/>

### 国土交通省気象庁：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

- 気象警報・注意報：<http://www.jma.go.jp/jma/menu/warnmenu.html>
- 台風情報：<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>
- 地震情報：<http://www.jma.go.jp/jma/menu/eqmenu.html>

## 3 光化学スモッグ情報

### 都環境局環境改善部大気保全課 ☎5388-3483

- PC：<http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/smog.htm>
- 携帯：<http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/ox.php>

## 4 熱中症情報

### 環境省熱中症予防情報サイト

- PC：<http://www.wbgt.env.go.jp/>
- 携帯：<http://www.wbgt.env.go.jp/kt/index.php>

### 国土交通省気象庁：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

- 高温注意報：<http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/kouon/>

# 1 安全管理で気をつける項目(例)

## (1) 校舎外等の安全管理

対象	項目	備考
校庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>●砂場における危険物の有無</li> <li>●地面の勾配や凹凸</li> <li>●危険物（硝子・石・釘等）の有無</li> <li>●フェンスや支柱の破損・劣化</li> <li>●部外者や動物の侵入の有無</li> <li>●校門等の施錠・鍵の故障の有無</li> </ul>	
遊具 体育等固定施設 移動施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊具、固定施設（鉄棒、ブランコ、滑り台、バックネット、防球ネットやその支柱などの破損や劣化）</li> <li>●移動施設（サッカー、バスケット、ハンドボールなどのゴールポストの固定の状態）、風雨等の自然環境の影響</li> </ul>	
運動用具等の倉庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●倉庫などの整理・整頓</li> <li>●倉庫の施錠、鍵の故障の有無</li> <li>●石灰の保管状況や利用法</li> <li>●参加者出入りの管理</li> </ul>	

## (2) 校舎内等の安全管理

対象	項目	備考
教室 会議室 音楽室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊具の破損、整理状況</li> <li>●エアコン等による温度管理</li> <li>●出入口の扉の危険性の有無</li> <li>●釘や画鋲の突起物</li> <li>●机・椅子・床・黒板の破損</li> <li>●施錠・鍵の交渉の有無</li> <li>●足がかりの有無</li> </ul>	
トイレ 冷水器	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生状態</li> <li>●滑りやすさなど</li> </ul>	

### ■安全対策リスト表

※校庭、体育館利用時に安全管理上特に注意すべきことをリストアップします。

#### (1) 校庭利用時

項目	対策
ジャングルジム	大人の見張りをつける。
校庭以外の場所	立入禁止の貼り紙とパイロンを置く。

#### (2) 体育館利用時

項目	対策
ステージ	上がらないように貼り紙をする。
窓・階段	注意喚起の貼り紙を置く。

## 熱中症について

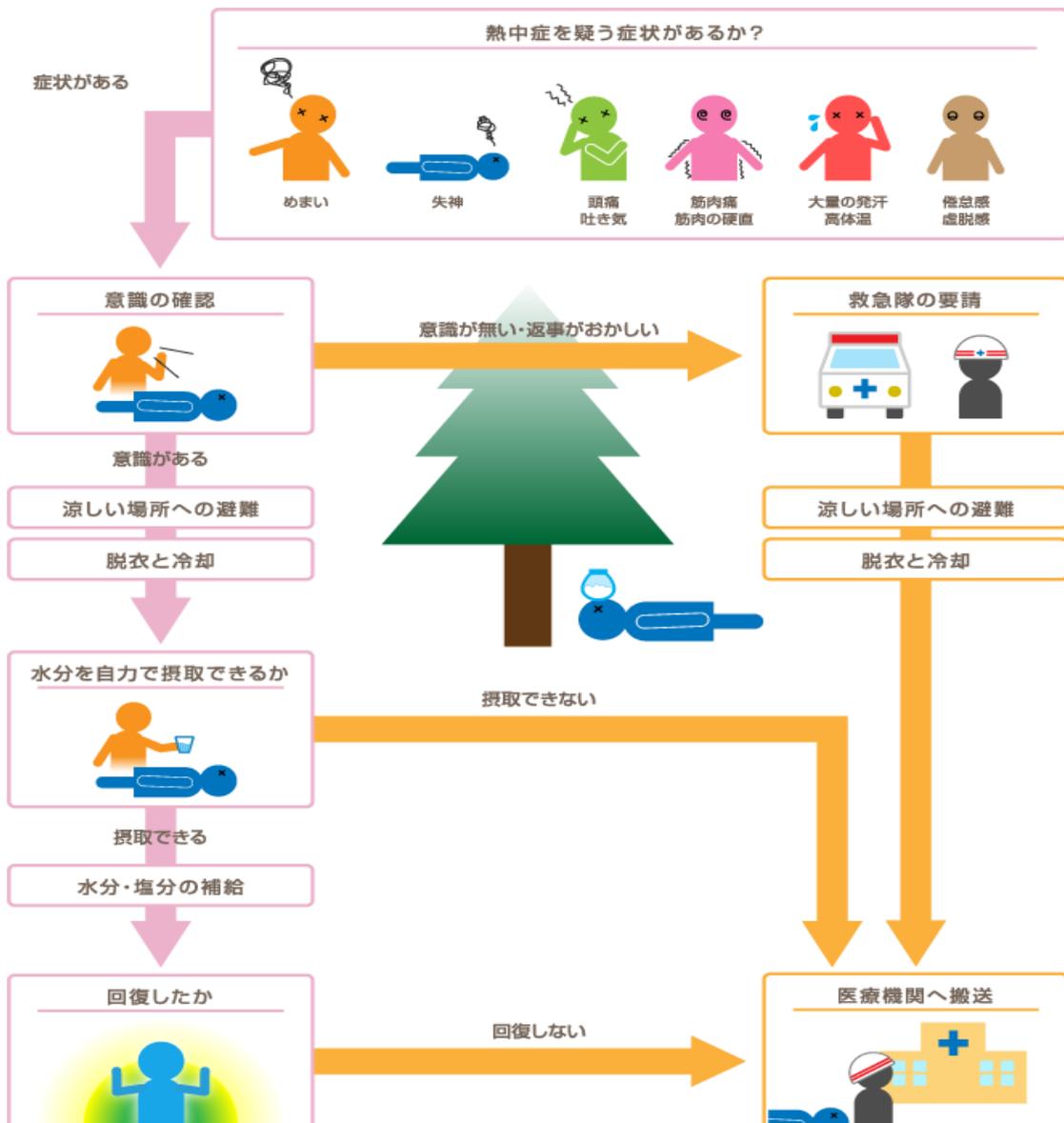
### ① 熱中症の病系と症状

熱失神	皮膚血管の拡張によって血圧が低下し、脳血流が減少して起こる。めまい、失神などがみられる。顔面蒼白、脈は速く、弱くなる。
熱疲労	脱水による症状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。
熱けいれん	血液の塩分濃度が低下して、足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれんが起こる。
熱射病	体温の上昇によって中枢機能に異常を来とし、意識障害（反応が鈍い、言動がおかしい、意識がない）が起こり、死亡率が高い。

### ② 熱中症の予防策

直射日光の下での長時間の運動を避け、服装は薄着で、吸湿性や通気性の良い素材のものを着用する。水分補給と適切な休憩（30分に一度程度を目安）をとる。

### ③ 熱中症のチェックシート



## 事件・事故災害発生時の応急処置について

### ① 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、傷病者を正しく救助して、医師または他の救助者（救急隊員）に渡すまでの応急の手当てを行う。傷病者が突然に意識障害、呼吸停止、心停止、もしくはこれに近い状態になった時、又は大出血により生命の危機に陥った時は、救命手当（心肺蘇生法と止血法）を行う。

### ② 傷病者への対応

傷病者を発見したら、周囲の状況を観察し、事故発生時の状況、事故の原因、二次災害（災害）の危険性、傷病の原因などについて注意をする。周囲の状況が悪い場合、傷病者及び救助者自身の安全を確認し、応急手当を行える安全な場所への避難を優先させる。周囲の状況が危険で傷病者に近づけないときは、直ちに119番通報する。

### ③ よく見て、話し かけ、直接触れてみる

応急手当を行う前には、傷病者の全身を観察を行う。どんな場合でも、特に、心肺蘇生法が必要な意識障害、呼吸停止、心停止の判断を下すためには、意識はあるか・呼吸をしているか・循環（脈の有無）のサインを確認する。

### ④ 心肺蘇生法

意識や呼吸、循環（脈の有無）のサインのない人の場合、必要に応じ気道確保、心臓マッサージ、AED使用、人工呼吸を行う。

## 出血の手当てについて

### ① 直接圧迫止血法

傷口に清潔なガーゼや布をあて圧迫する。圧迫は手でしっかり抑えたる。包帯を少し強めに巻き、傷が手足にあれば、心臓より高く挙げて動かさないように固定する。

### ② 間接圧迫止血法

（直接圧迫止血法と併用）直接圧迫で止まらない場合、直接圧迫をしたまま、心臓に近い止血点を手や指で圧迫して止血する。直接圧迫止血を行えない場合には間接圧迫止血を行う。

## 傷の手当てについて

- ① 軽く切った傷の程度なら、傷口についた菌を出してしまうために出血してから手当を行う。
- ② 傷口が土や泥で汚れている場合には、きれいな水で洗い流す。
- ③ 傷口には、清潔なガーゼをあてて包帯を巻く。汚れた手や消毒していないもので、直接傷口やガーゼにふれないようにする。
- ④ むやみに医薬品を使用しないようにする。
- ⑤ 手足の傷の場合、患部はできるだけ高い位置に置く。

## 強い打ち身(打撲傷)について

- ① 軽い打撲の場合、安静にして患部を冷やす。
- ② ひどい打撲の場合、骨折や内臓損傷のおそれがあるため、早急に医師の診療を受けさせようとする。

## 骨折について

- ① 患部が腫れている／変形している／皮膚が変色している／動かし触ると激しい痛みがある。／動かせなくなる／折れた骨が皮膚を破って飛び出し出血がある。といった場合、骨折していると考え手当する。
- ② 全身及び骨折部を安静にする。
- ③ 骨折部に副木（添え木）を当て動かないようにする。副木は、骨折部の上下の関節を含めることのできる長さで、十分な硬さ、幅のあるもの（身近にある板、段ボール、新聞紙、週刊誌、傘など）を利用する。
- ④ 出血や腫れのために血行障害を起こすこともあるので固定した後も、観察を継続する。
- ⑤ 副子がないときは、腕なら三角巾で吊る、足なら健康な足に固定する。
- ⑥ 傷がある時は、傷口は洗わず、清潔な布やガーゼを当てる。突き出ている骨は押し込まないようにする。取扱や運搬に注意して、医師の診療を受けさせる。

## 捻挫について

- ① 足首、手首、指、膝などが外れかかって元に戻った状態なので、むやみにもんだり、さすったりしない。
- ② 患部を冷水または氷嚢で冷やす。包帯や三角巾で固定し、安静にする。手は吊り、足は座布団や枕の上にのせて高くすると、楽になります。
- ③ 骨折も同時に起こしている場合もあるので、十分に注意する。
- ④ 患部を動かさないようにして、早めに医師の診療を受けさせる。

## 目に物が当たった場合

- ① 目にボールが当たった場合、目の中の出血や、目の周りの骨にひびが入っている可能性もあるので、すぐに横に寝かせ、水に濡らしたタオルなどで冷やす。
- ② 目の周りの腫れがひどく、目の中に出血がある場合、できるだけ安静にして、医師の診察を受けさせる。
- ③ 傷病者を起こして歩かせてはいけません。